



個人情報保護の取り組み

大切な患者さまの個人情報の保護に努めます

ヒポクラテスの昔から、医師は患者さまから得た情報を漏らしてはいけないという守秘義務を負ってきました。医学が進歩した今日、病院では医療における重要な多くの個人情報を医師のみならず、多数の職員が扱うようになりました。それだけにその個人情報の取り

扱いについては、慎重にまた適正に対応しなければなりません。平成15年には個人情報保護法が制定され、本年4月から全面施行されました。これを機会に、当院では左記のように個人情報に関する基本方針を作成し、また個人情報の利用目的について

も明示し、院内に掲示しています。当院は患者さまが安心して医療を受けていただけるように、全職員に対する研修会開催などを通じ、個人情報の保護をより万全に取り組んでいきます。

個人情報保護に関する基本方針

明石市立市民病院は、市民の健康な生活を支え、信頼される高度で良質な医療を提供する病院づくりを目指しています。患者さまの個人情報の取り扱いについても「明石市個人情報保護条例」等に基づき行うとともに、下記の基本方針を定め、患者さまの個人情報保護に厳重な注意を払っています。

1. 個人情報の収集について

当院は、診療および運営管理に必要な範囲においてのみ患者さまの個人情報を収集しています。また収集する情報の利用目的に関しましては、患者様に予め明示しています。

2. 個人情報の利用および提供について

当院は、患者さまの個人情報の利用及び提供については以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて使用いたしません。

- ◎患者さまの同意を得た場合
- ◎個人を識別あるいは特定できない状態に加工して利用する場合
- ◎法令等により提供を要求された場合

3. 個人情報の適正管理について

当院は、患者さまの個人情報について、正確かつ最新の状態に保ち、患者さまの個人情報の漏洩、紛失、破壊、改ざん、き損または患者さまの個人情報への不正なアクセスを防止することに努めています。

4. 個人情報の開示、訂正等について

当院は、患者さまの個人情報について、患者さまが開示、訂正等を求められた場合には、明石市個人情報保護条例等に従って対応しています。

5. 問い合わせの窓口

当院の個人情報保護方針に関してのご質問や患者さまの個人情報のお問い合わせは、相談窓口（業務課医事係）にお尋ね下さい。

平成 17 年 4 月 1 日

明石市立市民病院

病院長 佐々木 享



診療録管理室が4月より稼動しており、診療情報管理士によってカルテの管理を厳重に行っております。以前にまして個人情報の保護に努めております。

更年期障害とホルモン補充療法 Q&A

産婦人科部長 草西洋

①更年期はいつのことですか

月経が自然閉止（終了）してから 1 年後を閉経といいます。閉経の前後の 5 年間を更年期といいます。卵巣機能が低下して女性ホルモンが減少し、身体が性成熟期から老年期に移行してゆく時期といえます。

②更年期になると誰でも更年期障害になるのですか

いいえ。更年期の女性が皆更年期障害に悩まされるのではありません。また、更年期症状には様々な種類があり、その症状出現のしかたには個人差があります。

③では更年期症状にはどのようなものがあるのですか

基本的には次のように分類できます。ほてり、のぼせ、冷汗、動悸などの血管運動神経の機能異常により生じる症状。月経不順や外陰部のひりひりした痛み、膣分泌物（おりもの）の変化など性器にあらわれる症状。抑うつ気分、イライラ、めまい、不眠、しびれ、吐き気などのいわゆる不定愁訴の症状などです。

④ 50 歳頃の肩こり、腰痛は更年期症状ですか

いいえ。必ずしもそうとはいえません。更年期の多様な神経症状の中には脊椎の疾患、筋肉の疾患など整形外科の専門的な診断治療が必要な場合があり、まず整形外科での診察が不可欠です。同様にめまいであれば耳鼻科や眼科、あるいは神経内科的な診察も必要です。頭痛であれば脳神経外科でのチェックが優先されます。それらの症状の原因となる疾患が特定されない時に、症状の内容、程度、出現のしかたなどを検討して産婦人科での診療がおこなわれます。

⑤更年期障害の治療はどのようなものですか

更年期症状の原因は閉経を境にした卵巣機能の低下が様々な自律神経の機能失調を生じさせたものですので、卵巣機能低下によって減少している女性ホルモンを補充することが治療の基本となります。これがホルモン補充療法（HRT）です。さらに症状に応じた薬物療法が追加されます。漢方薬も更年期障害の治療にしばしば使用され、症状、体型などを考慮していくつかの薬剤が選択されます。その他睡眠導入剤や、自律神経調整薬、SSRI、鎮痛薬などが使用されます。

⑥ホルモン補充療法をすると乳がんになるのではないですか

いいえ。ホルモン補充療法（HRT）が直接に乳がんを発生させるのではありません。従来よりホルモン補充療法と乳がんの関連性についてはいくつも研究報告があり、最近では 2004 年の米国での WHI 研究報告が世界中の話題になりましたが、この報告では HRT をした場合の乳がんになる可能性は HRT をしなかった場合よりも 26% 増加するというものでした。

しかし、この 26% の意味するものは実は 1 万人あたりで実数 8 人増えるというもので、もともと乳がんの発生が米国の婦人よりも少ない日本人に当てはめると 1 万人当たり 2 ないし 3 人増加すると考えられています。なお、この報告が発表された米国でも、我国の更年期治療について研究を進めている唯一の機関である日本更年期学会でも、更年期症状に悩んでいる女性に対する HRT を例えば 5 年間といった短期間の治療を行なうことは有用であるとしています。

当院の産婦人科では、以上の HRT と乳がんの関係についてお話をしたうえで納得された方へのみ HRT を実施するという考えで診療を行なっています。

女性相談外来

女性の患者さまに気軽に安心して受診していただけるよう、女性医師・女性スタッフによる「女性相談外来」を金曜午後予約制で開設しています。

女性特有のからだの変化はどの年代の方にも訪れます。月経が始まり、妊娠、出産があり、閉経を迎えて、その後もずっとからだは変化し続けます。女性特有のからだの悩みは相談しにくいことが多いように思います。

当院での女性相談外来の開設後、様々な症状の患者さまの受診がありました。その一例としては生理痛、生理不順、外陰部不快感、おりものによる不快感、更年期障害など婦人科関連の症状を訴えられる方がやはり多いですが、日常生活における不安感・不快感・めまいなど複数の症状があり、どの診療科を

受診するのが難しいと思われた方もいらっしゃるかもしれません。そのような症状や経過の長い症例に対して、普段の病院の受診では長く時間を取るのが難しいこともありますが、女性相談外来では患者さま一人に対して 20 分ほどの時間を確保しております。そのため、詳細なお話を伺うことができますので、それに基き、できる限りそれぞれの患者さまのライフスタイルに合うような治療法を考えていきたいと思っています。

また、症状によって必要な時は内科・外科・耳鼻科・心療内科など専門診療科を紹介させていただきます。連携して診療させていただきます。（なお、各専門診療科では、女性医師が担当できない場合もございますので、ご了承ください。）

看護部通信

4階西病棟紹介

手術前後の療養生活を快適に――

看護師長 藤原 雅子

当病棟は、外科的治療（手術）を中心とした50床の病棟です。スタッフは外科医師8名、看護職員20名でチームワークをモットーに周手術期ケアを行なっています。

どんなに医学が進歩しても手術を受ける患者さんやご家族のご心配、不安は変わりません。私たちは患者さんが安心して手術を受けられ、術後の療養生活を快適に過ごして頂けるよう努めています。

クリティカルパスを導入し、患者さんとご家族に手術前から退院までの予定・経過を示すことで、順調に回復していることをご理解いただける指標としています。

また「手術は痛くて当たり前」という概念は過去のものです。現在では「術後の痛みはコントロールできるもの」と考え、手術前から麻酔科と連携して、個々の患者さんにあつた除痛方法を検討しています。痛みを我慢してじつとしているよりは、痛みを積極的に取り除いて、できるだけ早期にベッドから離れて歩行することが術後の回復に繋がります。

患者さんやご家族にとって手術室への入室はもっとも緊張する瞬間です。私たちは手術への不安を軽減する工夫として、手術室への歩行入室を実施しています。

従来はベッド上で寝たまま入室することが標準でしたが、現在は患者さんが歩いて手術室まで行けるようになります。入り口間際までご家族とともに過ごすことができます。入室時に手術室ナースと直に体面し、その場で申し継ぎをします。リスクマネジメントの面でもお名前や術式・部位の確認はさらに確実にになりました。歩行入室はすべての方に強制するのではなく、「1.



ベッドで寝たまま」「2. 車椅子」「3. 歩行入室」の3つの方法の中から患者さんご自身が方法を選択できるシステムとなっています。昨年末からこのシステムを取り入れ、現在までにおよそ90名の方が歩行入室を選択されました。それらの患者さんご意見は『安心だった。』『ゆつくりとした気分で手術に臨めた。』など概ね良好な評価を頂いております。

手術の種類や部位によって条件が異なるため、すべての科、すべての患者さんに歩行入室を適応することは難しく、現在当院で行なっているのは外科のみです。

今後も患者さんとともに検討を続けてまいりますので、ご意見、ご感想をお寄せ頂きますようお願いいたします。

病院ホームページ公開中！
 明石市立市民病院ではホームページを運用しています。下記 URL までアクセスください。
<http://www.city.akashi.hyogo.jp/hospital/shiminhosp/index.html>

家 内 療 診

内科、肝臓内科、心療内科、精神科、神経内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

◎初めて受診される時

1. 新患受付にある新患受付番号発行機から、番号札をお取りください。
2. 診察申込書に必要事項をご記入ください。
3. 新患受付前で、順次番号をお呼びし、受付をします。
4. 新患受付後、カルテをお渡ししますので、それをもって、各診療科の受付窓口へ渡していただき、各診療科診察室前でお待ちください。
5. 診察室から、お名前をお呼びします。

◎受付時間

月～金：午前8時30分～午前11時30分
 ただし、脳神経外科（月）神経内科（水）耳鼻咽喉科（木）は午前11時まで
 女性専門診療は第2・第4金曜日午後2時（完全予約制・予約専用電話 9182356）
 なお、健康診断は受付時間が異なりますのでご注意ください。

健康診断：月～金の午前8時～午前10時

◎健診ほか（いずれも有料です）

1. 乳児健診（生後一・三・六・九・十二か月児が対象）
2. 予防接種（小児が対象、予約が必要です）
 日本脳炎、麻しん、三種混合（百日せき、ジフテリア、破傷風）、二種混合（ジフテリア、破傷風）、風しん
 毎週水曜日 午後1時～1時30分
3. 先天性股関節脱臼健診
 診察 毎週水曜日 午後2時～午後3時

いずれも詳細は、市民病院業務課にお問い合わせください。

明石市立市民病院業務課
 電話 9122323

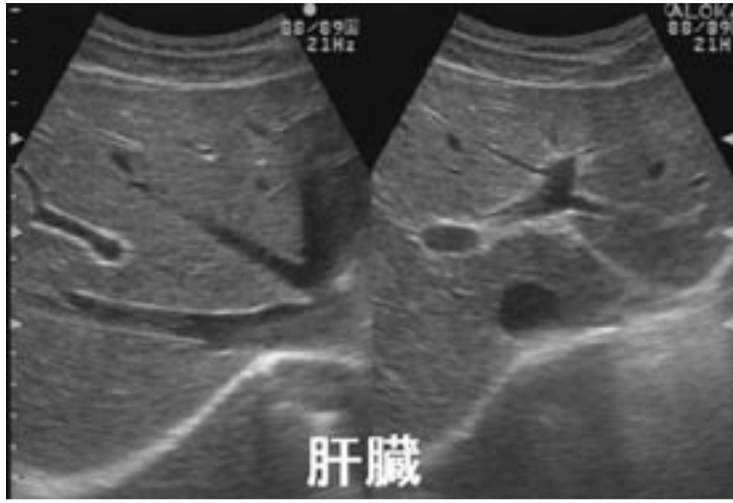
エコー検査について

臨床検査科

エコー検査とは超音波を使用して体内の臓器を調べます。甲状腺、検査です。超音波とは、人間が聞くことを目的としない音乳腺、婦人科と定義されており、人間が聞くことのできる音より 100 倍以上高い周波数を使用しています。腹部エコーは臓器の形や大きさ、腫瘍の有無

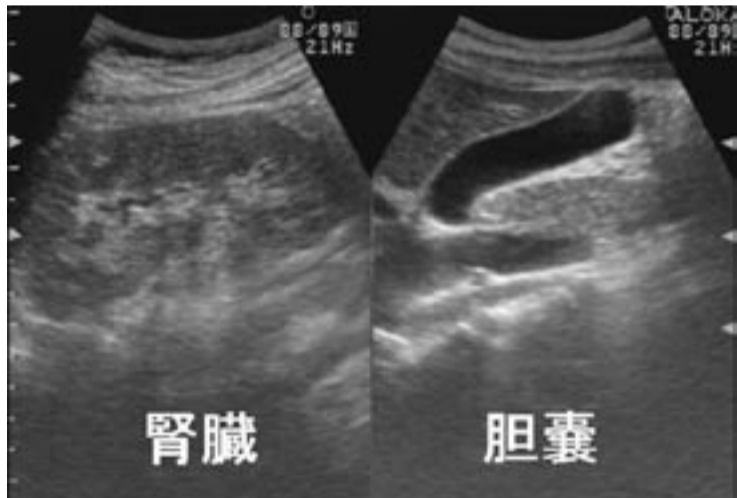
身近な超音波では魚の群れを探す魚群探知器、また自然界ではイルカ、コウモリが超音波の反射を利用して暮らしています。腫瘍が存

エコー検査の特徴は無害で副作用がないため妊婦、ペースメーカー装着者、造影剤アレルギーのある人でも問題なく検査でき、短期間でも繰り返し検査できます。エコー検査は分解能が非常に高く、条件さえ良ければ数ミリの病変も見つけることができます。また、血管内を流れる血流の向きや速さも測定できます。しかし、短所として空気、骨の後は見えないことや、患者さんによっては見え方に個人差があり、非



肝臓

常に見えにくい人がおられたり断がつかず、頸動脈エコーは血管検査は頸部、乳腺の内膜の肥厚を測定、心臓、腹部臓器（肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・その他）、産婦人科等



腎臓

胆嚢



胎児

産科エコーは胎児の体躯の計測を行い、出産までの成長過程を観察しています。エコー検査は通常予約制ですが、必要性があれば、必要があれば、迅速で有用な情報を報告でき

院内情報局

この情報は 8 月 15 日現在のものです。詳細は総務課まで

健康明石 21 市民公開講座

- ・ 8 月 18 日 (木)
 - 「眼の常識うそ、ほんと」：眼科
 - 「MRI 検査 (画像診断の進歩)」：放射線科
- ・ 9 月 15 日 (木)
 - 「難聴」：耳鼻咽喉科
 - 「痛みに対する治療」：麻酔科
- ・ 10 月 20 日 (木)
 - 「血液の病気」：内科
 - 「薬の副作用」：薬剤部

- ・ 11 月 17 日 (木)
 - 「膝の痛み」：整形外科
 - 「老化予防の運動」：リハビリテーション科
- 各日とも午後 2 時から、正面玄関右手の階段を上った 2 階講義室で開催します。入場無料です。直接会場までお越しください。
- ※「外来診察予約券が新しくなります。」今まで各科で独自に作成されていた診察予約表 (券) をこの度、様式や形を統一して、患者さまの利便性に配慮し「財布」や「カード入れ」に収納しやすい大きさに統一し、色も各科ごとにわかりやすくするため別々の色としています。(業務課医事係)
- ※ 新 CT 機器導入に伴い、8 月 26 日から 9 月 16 日まで、検査室 62 番の MRI と検査室 63 番の CT が使用できない期間がございます。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願ひします。(放射線科)

いや癒しの森 作品募集

「癒しの森」では皆様からのご意見、写真・イラストなどの作品を募集しています。お問い合わせ 広報委員会事務局(総務課)

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。私は幼児期、夏になるといつも病床に臥せり、まともに夏休みを過ごしたことがありませんでした。ところが、成長するにつれて健康になり、小学校を卒業するころは故郷の海であわび、サザエなどを獲って遊んだ記憶があります。われは海の子白波の...という感じでしたが、今ではおそろくおぼれてしまうものと確信しております。

(月下独酌・編集長)